

(公社) 愛知県栄養士会 第1回学校健康教育部会研修会報告

日時： 令和5年12月16日(土) 13:30~15:00

場所： ウィンクあいち 1307会議室

講師： 知多市立旭東小学校

教頭 八釦 明美氏

テーマ：「子どもたちの意識を引き出し、応える栄養教諭の役割」

・実際に行われている食育指導の事例から、栄養教諭として必要な資質について考える。

参加者： 受講者 24名(主催者側担当者4名含む)

【テーマの設定理由と研修会の内容】

栄養教諭が学校に必要とされる存在であるためには学校の中でどのような職務を果たすとよいのかを、実際に学校で管理職をされている先生からお話を聞き、今後役に立てたいと考えた。

講師の先生は幼保小連携やカリキュラムマネジメントについて多くの研究実績をお持ちなので、そのご経験から、さまざまな食の指導事例の紹介を取り入れたお話をいただいた。

幼保小の連携を充実させることは、就学前の子どもたちやその保護者が学校生活に抱く不安を取り除くことができること、その不安の中には学校給食に対するものが大きいことがわかった。また、その不安を取り除くことで、学校生活をスムーズにスタートさせることができ、そのために栄養教諭の果たす役割が大きいことなどを聞くことができた。

また、栄養教諭が行う食育指導は、学級活動などの時間を使ったものがほとんどだが、単発な授業になりがちである。しかし、食育は社会科や理科や生活科、総合的な学習などの教科と関連している内容が多いことから、計画の段階からそれらの教科と関連付けた指導を行うことが必要であることや、学校目標を念頭に置いて食育指導を行うことがチーム学校の一員としての栄養教諭の役割であることを学んだ。

(報告者 美浜町立上野間小学校栄養教諭 谷口郷子)